

川崎市議会議員 いわくま ちひろ 高校生市議会を初開催

民進みらい
川崎市議団

連載No.103

川崎市議会では初となる**高校生市議会**が開催されました。これまで、毎夏に開催されることも議会見学会などはありましたが、今回の高校生市議会は、実際の市議会さながらに高校生たちがテーマに基づいて議論を重ね、最終的に意見書として市議会に提出するものです。

議会をより身近に感じること、**いわゆる主権者教育の実践や社会参画への第一歩の一助になる**ことを目指しています。

実施の目的としては、議会に対する理解を深め、関心を高めることも、議員との意見交換等を通じ、市

参加された高校生は市立高校(川崎・川崎総合科学・幸・橘・高津) 33名です。高校生たちは、社会・教育委員会、まちづくり・観光委員会、福祉環境委員会の3つの委員会に分かれ、川崎市政に対する自分たちの問題意識を生徒間で議論しました。

委員会の中では、まちづくりや観光について「私たちは、まだまだ自分の街の魅力やポテンシャルに気がついていない。街の良さや既存の観光資源を再認識してSNSやプロジエクションマップピングなど新しい手法を活用して情報発信すべき」という意見にまとまりました。新しいものを建設することやイベント誘致という意見が多数かな?と思っていましたが今の高校生のみなさんは大変堅実でした。



川崎市議会議員 いわくま ちひろ

- 昭和50年生まれ 42歳
- 英国国立ウェールズ大学卒業 ロンドン大学大学院研究生 専門は国際政治学
- 国際派議員として、子どもから大人まで英語学とキャリア教育を教える。毎週日曜日は、イトーヨーカドー溝口店前で市政報告を継続中!(11年4ヶ月)



私は、総務委員会の副委員長を務めていますので、まちづくり・観光委員会の生徒さんたちの補佐をしました。

選挙権年齢は18歳に引き下げられました。そこに教育が加味されていないことには意味をなさないというのが私の持論です。また、今回の活動は、一昨年にドイツ・スウェーデン視察で学んできた主権者教育を川崎市でも具現化したものです。初の試みでしたのでまだまだ改善の余地があります。今後とも継続して取り組んで参ります。